

hitoyoshigram

Instagramで#oh_hitoyoshiを付けて投稿された写真を紹介します。



#紅葉スポット #元湯

@emeraldgreen_seaside7866さん

人吉市公式 Instagram @hitoyoshi_city をフォローし、#oh_hitoyoshi を付けてお気に入りの人吉を投稿しよう！

すてきな人吉のひとコマを世界に広めていきましょう。

人吉市公式 Instagram @hitoyoshi_city



きじこ NEWS 1月号

きじこコイン（通称きじこ）は、お金の地域内循環を目的に、市とき馬スタンプ協同組合、人吉商工会議所が連携して取り組む電子地域通貨です。

きじこを利用するためにはアプリのダウンロードが必要です。詳しくはホームページをご覧ください。



▲きじこコインホームページ

きじこポイント還元率は常時1%!

きじこで支払うと、決済金額の1%のポイントが付き、貯まったポイントは加盟店の買い物などに、1ポイント1円で使えます。年始めのお買い物などでぜひご利用ください！

利用できる店舗はきじこホームページか、きじこアプリ内の「探す」から確認できます。

※ポイントで支払った分にポイントは付きません



問合せ きじ馬スタンプ協同組合 (☎22-2254)

ひとよしのお仕事



人吉市にはたくさんの事業所があり、生き生きと働く人たちが町を活気づけています。このコーナーでは、市内で働く若者を紹介します。

掲載希望事業所を募集しています。ぜひお問い合わせください。

父が経営する表具店を手伝ったことがきっかけでこの業界に入りました。父の下で経験を積み、身に付けた技術を生かして自分のやり方で仕事をしたいと思い、平成27年に独立。同年に、壁紙・クロス工事の最上級の国家資格である一級壁装技能士の資格を取得しました。

国家資格を得たことで、一般家庭の施工だけでなく、公共施設や、最近でいうと青井阿蘇神社の青井の杜国宝記念館の施工など、仕事の幅が増えてきたところですが、まだまだスタートラインに立ったばかり。「一生修業」をモットーに、学びを忘れずお客さまに喜ばれる仕事をしていきたいです。

山田表具店 人吉



所在地：原城町50番地3
創業：平成27年
代表者：山田 秀人
事業内容：内装全般（天井や壁のクロス貼り、ふすま・障子張りなど）、リフォーム、店舗改装
☎090-6778-7802



やまだしゅうと 山田 秀人 (39) 原城町

地域防災官の

市地域防災官による災害への防災意識や命を守る方法のお話を紹介します。

問 市防災課防災係 (☎22-2111 内線3241)

命を守る話



災害時の安否確認情報について

新年おめでとうございます。新しい年がスタートしましたが、スタートもゴールもない、言わばエンドレス的に繰り返されるハザード(自然現象)によって引き起こされる自然災害と向き合っていくかなければならないことは、私たち人類のさかと言えるでしょう。そのようなことから、今年も「逃げ遅れゼロ」「犠牲者ゼロ」を目指し、皆さんと一緒に災害対応に取り組んでいきたいと思えます。

今回は、災害発生後の安否確認情報についてお話ししたいと思います。災害発生直後は、何が起

きたのか、どの程度の災害なのかといった被害状況の把握が最大の関心事になりますが、災害の状況がある程度分かると、次に心配になるのが、肉親や知人の「安否に関する情報」です。

大きな災害では、電話回線が切断したりインターネット回線や電話回線にアクセスが集中したりするなど、携帯電話も含め通信がつながりにくい状況になります。これを踏まえ、阪神淡路大震災後には、日本電信電話株式会社（NTT）で「災害用伝言ダイヤル（171）」が開設され、携帯電話各社はインターネットを活用して伝言を文字で登録できる「災害用伝言版」のサービスを始めました。

災害時の安否確認は、混乱下の不安な状況を取り除く一つの手段となりますので、いざというときのために日頃から安否確認サービスの使用方法を確認しておきましょう。



川畑式

脳パズル Q.9

思考迷路

「い→ろ→は」、「喜→怒→哀→楽」の順番に、タテ・ヨコに進み、全てのマスを通ります。ナナメに進んだり、同じ道を通ったり戻ったりはできません。

9-1

は	い	ろ	は
ろ	ろ	い	は
い	は		ろ
い	ろ	は	い

9-2

喜	怒	哀	怒	哀
怒	喜	楽	喜	楽
哀	楽		楽	喜
楽	喜	怒	哀	怒
哀	怒	喜	楽	哀

答えは23針!

どこまで進んだか？どのように進んできたか？これからどう進むのか？先を読みながら一歩ずつ頑張ってください。



川畑智さん。熊本県を拠点に、病院・施設で認知症予防や認知症ケアの実践に取り組むとともに、全国各地での講演活動にも力を注ぎ、介護予防の普及啓発活動や研究活動を行っている